

## レーシングカー開発施設で磨き上げた空力性能

### ダイナミックなスタイリングと燃費性能を両立

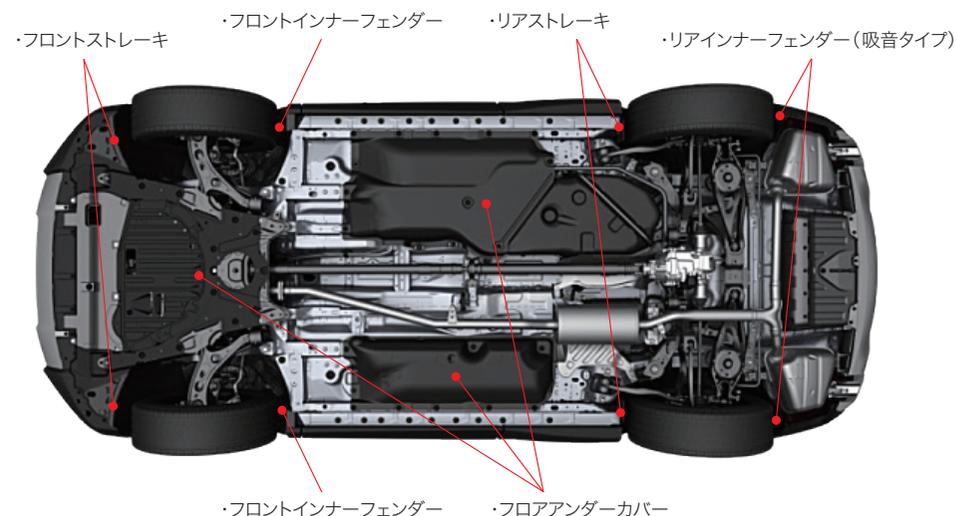
力強いスタイリングと優れた燃費性能を両立させるために空力性能を磨き上げました。リアフェンダーの絞り込み角度や、テールゲートスポイラーの長さ・角度の最適化、リアエンドをシャープな形状にすることなどにより、後方へ流れる空気の剥離を抑制。また、ボディー下部にはアンダー

カバーを取り付けることで、整流効果を高めました。さらに、Hondaのレーシングカー研究開発の中枢「HRD Sakura」で数百回にも及ぶ風洞実験を繰り返し、優れた空力性能を獲得しています。

#### ■空力性能イメージ



#### ■ボディー下面空力パーツ配置図

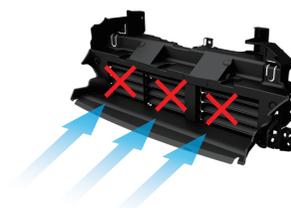


### Honda車、国内初シャッターグリルを採用

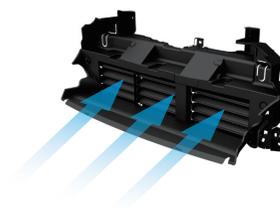
日本国内のHonda車として初めて、シャッターグリルを採用。エンジン水温など車両の状態に応じてシャッターを自動的に開閉することで、空気抵抗を低減し、燃費向上を実現します。



シャッターグリル  
(開いている状態)



通常はシャッターを閉じて、エンジンルーム内の通過風抵抗を低減。



エンジン水温をもとに、冷却の必要に応じてシャッターを開ける。